



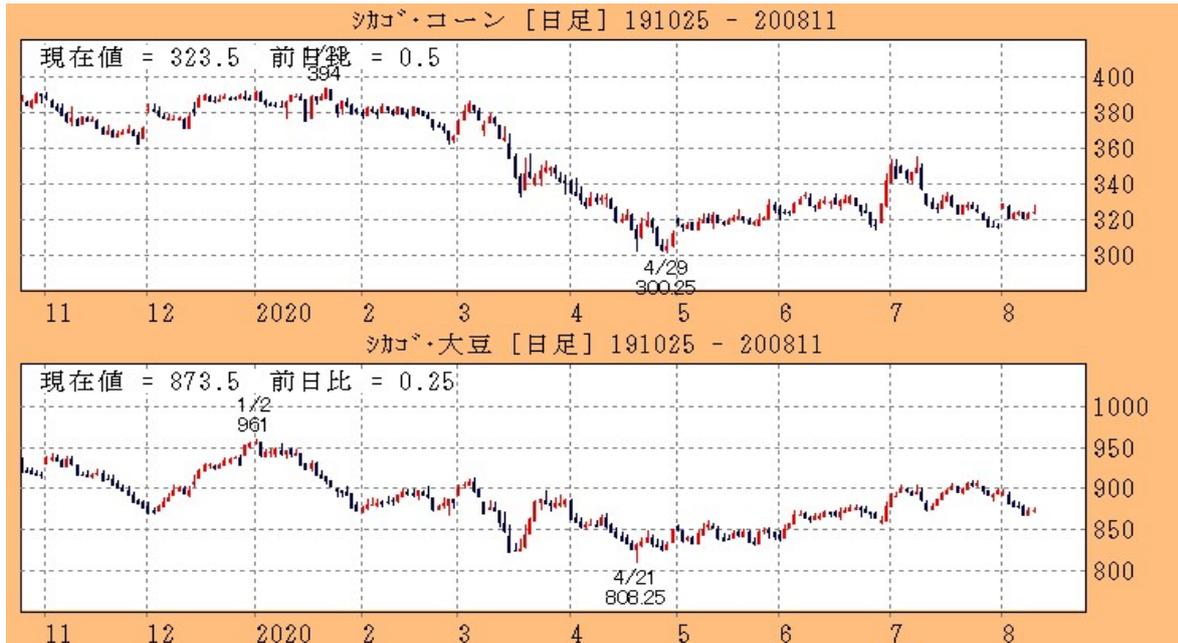
週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜日夕方発行

トウモロコシ、大豆ともに小幅続伸

： 2020/8/12



11日のシカゴトウモロコシ12月限は前日比+0.50セントの323.50セント。取引レンジは322.50セント～327.50セント。前日のシカゴ日中取引終了後に米農務省（USDA）が発表した作柄報告で、「優」「良」の占める割合が71%と、前週から1ポイント低下したことから買いが優勢となった。また、米産地が強風に見舞われ、一部のコーンに倒伏が見られることを受け、その被害に対する懸念から上昇一時327.50セントと前日までのレンジ上限を上抜く動きも見られたが、米農務省（USDA）による月例需給報告の発表を控え利益確定の売りがあり、一時は322.50セントの安値まで下落し、この日の安値に近い水準で引けた。

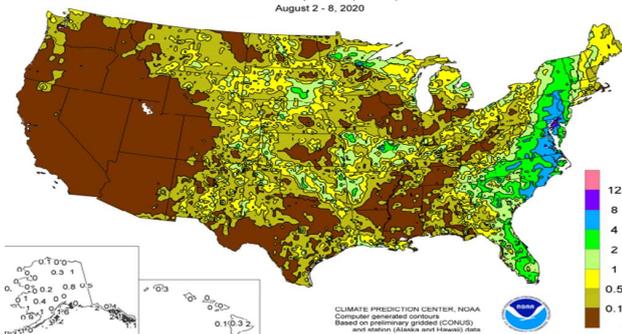
11日のシカゴ大豆11月限は前日比+0.50セントの873.50セント。取引レンジは870.25セント～877.00セント。中国向けの大口成約が米農務省（USDA）から連日発表されていることから買いが先行し、一時は877セントまで上昇したが、前日のシカゴ日中取引終了後にUSDAが発表した作柄報告で、「優」「良」の占める割合が74%と、前週から1%引き上げられたことで戻りは限られた。12日にはUSDAによる月例需給報告の発表を控え積極的な売買とはならず、狭いレンジ内での取引となった。

11日のシカゴ小麦12月限は前日比+4.25セントの503.75セント。取引レンジは499.00セント～507.00セント。エジプトがロシア産小麦を購入したことが弱材料となったが、これまでの続落を受け500セントの節目ではテクニカル的な買い戻しが入った。USDA月例需給報告を控えていることも要因。

米国の天候 by Weekly Weather and Crop Bullitin of USDA

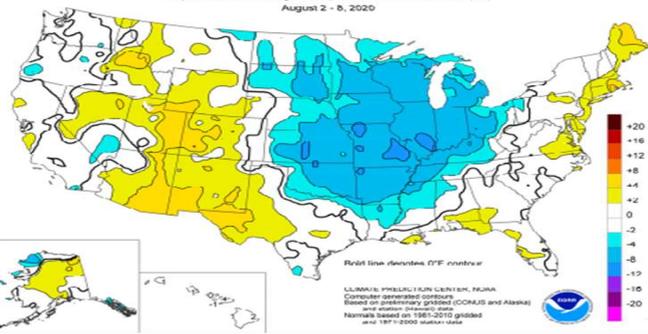
8月2日～8月8日の降雨量

Total Precipitation (inches)
August 2 - 8, 2020



8月2日～8月8日の気温の平年比

Departure of Average Temperature from Normal (°F)
August 2 - 8, 2020



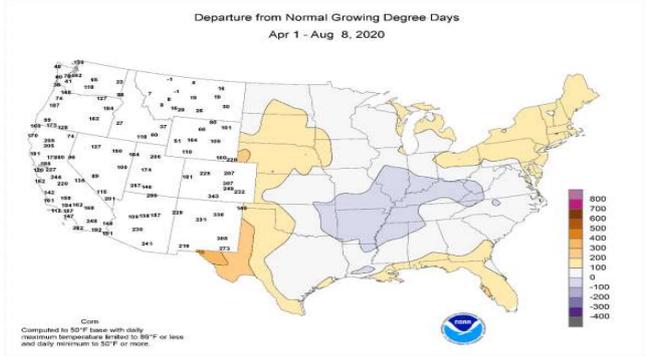
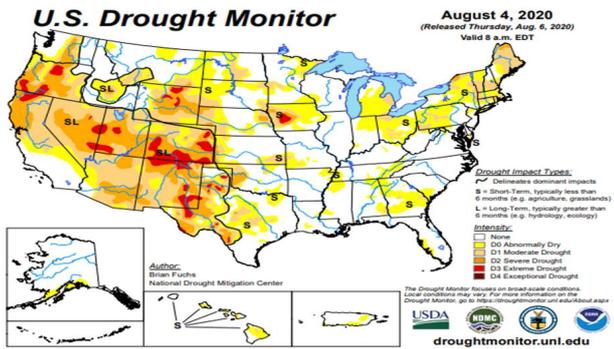
CLIMATE PREDICTION CENTER, NOAA
Computer generated contours
Based on preliminary gridded (CONUS)
and station (Alaska and Hawaii) data

CLIMATE PREDICTION CENTER, NOAA
Computer generated contours
Based on preliminary gridded (CONUS and Alaska)
and station (Alaska and Hawaii) data
Normals based on 1981-2010 gridded
and 1981-2000 station data



8月4日の干ばつモニター

4月1日~8月8日までの生育平年比



ハリケーン・イザヤスは8月3日ノースカロライナ州に上陸し、ワシントンD.C.の東を通過。近隣に大雨が降った。他の地域で比較的静かな天候が継続。中西部では州の後半に時折降雨があった。干ばつの影響を受けている高原地帯を除いて、作物には好条件な天候だった。西部では乾燥した天候によりフィールドワークは行えたが、牧草地にはストレスとなった。アリゾナからテキサス州にかけては、平年より2℃ほど気温が高かった。五大湖周辺や中西部では8月2日に大雨が降ったところもある。ミルウォーキーでは1日で120ミリの降雨があり、2010年7月22日以来の大雨だった。

Crop Progress				
トウモロコシ				18州
Silking	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	1%	2%	2%	
6月28日	2%	4%	7%	
7月5日	7%	10%	16%	
7月12日	14%	29%	32%	
7月19日	30%	59%	54%	
7月26日	51%	82%	75%	
8月2日	72%	92%	87%	
8月8日	87%	97%	95%	
トウモロコシ				18州
Dough	前年度	2020年度	過去5年平均	
7月12日	2%	3%	3%	
7月19日	4%	9%	7%	
7月26日	11%	22%	17%	
8月2日	20%	39%	33%	
8月9日	34%	59%	52%	

トウモロコシ						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月24日	1%	4%	21%	61%	12%	73%
5月31日	1%	3%	21%	61%	15%	76%
6月7日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月14日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月21日	1%	4%	23%	57%	15%	72%
6月28日	1%	4%	22%	57%	16%	73%
7月5日	1%	4%	23%	54%	16%	70%
7月12日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月19日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月26日	2%	5%	21%	55%	17%	72%
8月2日	2%	5%	21%	55%	17%	72%
8月9日	2%	6%	21%	53%	18%	71%
前年度	3%	10%	30%	47%	10%	57%

トウモロコシ				18州
Dented	前年度	2020年度	過去5年平均	
8月9日	6%	11%	12%	

大豆				18州
Bloomin g	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	1%	5%	5%	
6月28日	2%	14%	11%	
7月5日	8%	31%	24%	
7月12日	19%	48%	40%	
7月19日	35%	64%	57%	
7月26日	52%	76%	72%	
8月2日	68%	85%	82%	
8月9日	79%	92%	89%	
大豆				18州
Setting Pods	前年度	2020年度	過去5年平均	
7月5日	1%	2%	4%	
7月12日	3%	11%	10%	
7月19日	6%	25%	21%	
7月26日	17%	43%	36%	
8月2日	32%	59%	54%	
8月9日	49%	75%	68%	

大豆						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月21日	1%	4%	24%	60%	12%	72%
6月28日	1%	4%	25%	58%	13%	71%
7月5日	1%	4%	24%	58%	14%	72%
7月12日	2%	5%	24%	57%	14%	71%
7月19日	2%	5%	25%	54%	15%	69%
7月26日	1%	5%	24%	54%	15%	69%
8月2日	1%	5%	22%	57%	15%	72%
8月9日	1%	4%	21%	57%	17%	74%
前年度	3%	10%	33%	46%	6%	52%



冬小麦			18州
Harvested	前年度	2020年度	過去5年平均
5月31日	1%	3%	2%
6月7日	3%	7%	7%
6月14日	7%	15%	15%
6月21日	13%	29%	26%
6月28日	26%	41%	41%
7月5日	42%	56%	55%
7月12日	54%	68%	66%
7月19日	66%	74%	75%
7月26日	73%	81%	82%
8月2日	80%	85%	88%
8月9日	87%	90%	93%

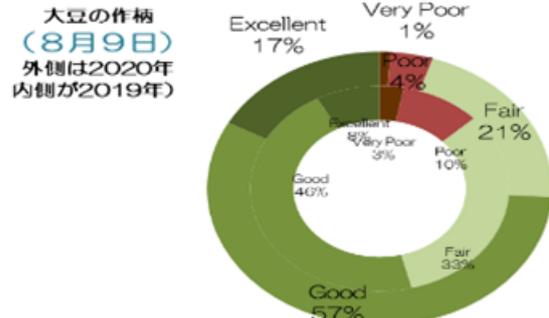
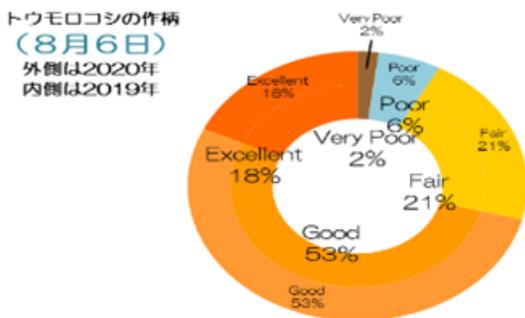
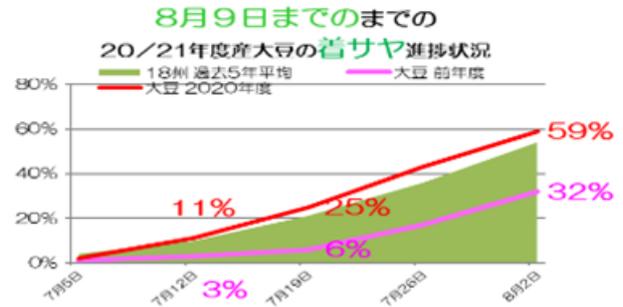
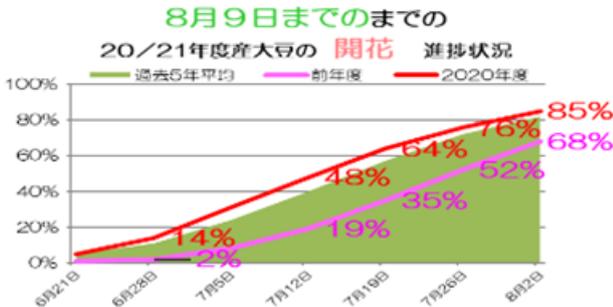
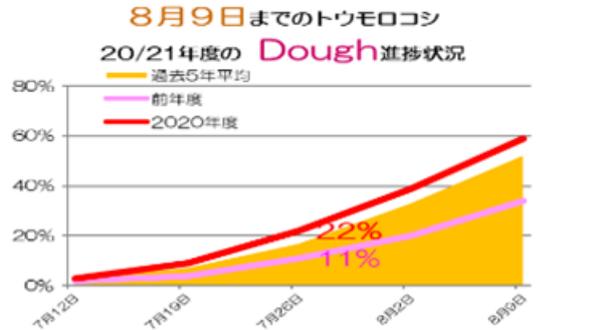
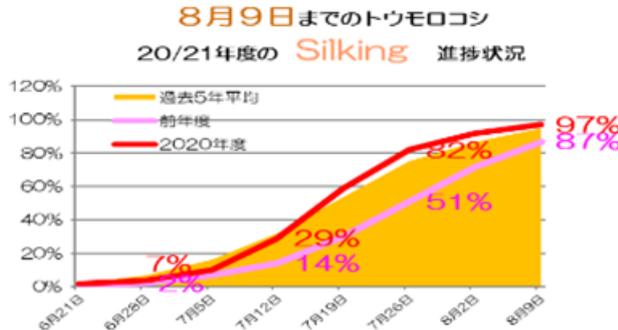
春小麦				18州
Harvested	前年度	2020年度	過去5年平均	
8月2日	2%	5%	10%	
8月9日	6%	15%	25%	

春小麦						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月7日	0%	1%	17%	72%	10%	82%
6月14日	0%	2%	17%	73%	8%	81%
6月21日	1%	3%	21%	68%	7%	75%
6月28日	1%	5%	25%	60%	9%	69%
7月5日	6%	11%	32%	41%	10%	51%
7月12日	2%	6%	24%	57%	11%	68%
7月19日	2%	5%	25%	55%	13%	68%
7月26日	2%	4%	24%	60%	10%	70%
8月2日	1%	4%	22%	62%	11%	73%
8月9日	2%	5%	24%	57%	12%	69%
前年度	1%	7%	23%	57%	12%	69%

8月9日の米国産トウモロコシのSilkingは97%完了（前年は87%、過去5年平均は95%）Doughが59%（前年は34%、過去5年平均は52%）Dentが11%（前年は6%、過去5年平均は12%）トウモロコシの作柄は優と良が71%（前年は57%）

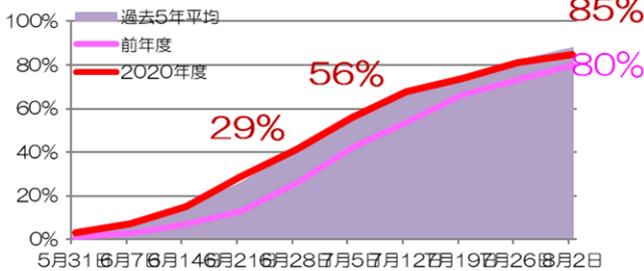
大豆は、Bloomingが92%完了（前年は79%、過去5年平均は89%）Setting Podsが75%完了、（前年は49%、過去5年平均は68%）作柄は優と良が74%。（前年は52%）

冬小麦の収穫は90%完了（前年は87%、過去5年平均は93%）春小麦の収穫は15%完了（前年は6%、過去5年平均は25%）作柄は優と良が69%。（前年は69%）

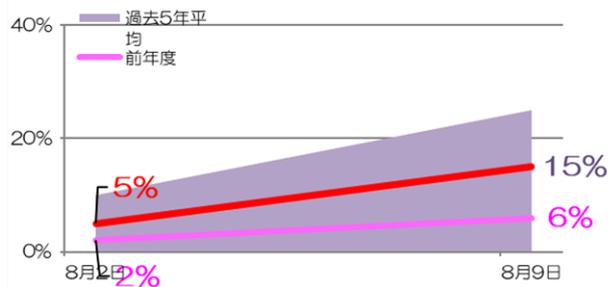




8月9日まで20/21年度米国産
冬小麦の収穫進捗状況



8月9日まで20/21年度米国産
春小麦の収穫進捗状況



アルゼンチンのトウモロコシ by USDA

2020年7月23日 USDA GAIN Report

千トン・千ヘクタール	17/18年度	前年比	前年比%	18/19年度	前年比	前年比%	19/20年度	前年比	前年比%	20/21年度	前年比	前年比%
収穫面積	5,200	+300	+6.1%	6,100	+900	+17.3%	6,200	+100	+1.6%	5,900	▲300	▲4.8%
期初在庫	5,273	+3,814	+261.4%	2,407	▲2,866	▲54.4%	2,368	▲39	▲1.6%	2,573	+205	+8.7%
生産	32,000	▲9,000	▲22.0%	51,000	+19,000	+59.4%	50,000	▲1,000	▲2.0%	47,600	▲2,400	▲4.8%
輸入(穀物年度)	7	▲4	▲36.4%	5	▲2	▲28.6%	5	+0	+0.0%	4	▲1	▲20.0%
輸入(暦年)	7	▲1	▲12.5%	5	▲2	▲28.6%	5	+0	+0.0%	4	▲1	▲20.0%
供給合計	37,280	▲5,190	▲12.2%	53,412	+16,132	+43.3%	52,373	▲1,039	▲1.9%	50,177	▲2,196	▲4.2%
輸出(穀物年度)	22,473	▲3,513	▲13.5%	37,244	+14,771	+65.7%	36,000	▲1,244	▲3.3%	33,000	▲3,000	▲8.3%
輸出(暦年)	24,200	+1,249	+5.4%	32,879	+8,679	+35.9%	37,000	+4,121	+12.5%	33,000	▲4,000	▲10.8%
飼料用その他	8,500	+1,000	+13.3%	9,700	+1,200	+14.1%	9,800	+100	+1.0%	10,000	+200	+2.0%
食料用需要	3,900	+200	+5.4%	4,100	+200	+5.1%	4,000	▲100	▲2.4%	4,200	+200	+5.0%
国内需要合計	12,400	+1,200	+10.7%	13,000	+600	+4.8%	13,800	+800	+6.2%	14,200	+400	+2.9%
期末在庫	2,407	▲2,877	▲54.4%	2,368	▲39	▲1.6%	2,573	+205	+8.7%	2,977	+404	+15.7%
期末在庫率	6.6%	▲7.6%	▲53.7%	5.2%	▲1.4%	▲21.5%	5.1%	▲0.1%	▲1.9%	6.3%	+1.2%	+24.5%
生産+輸入(①)	37,280	▲5,190	▲12.2%	53,412	+16,132	+43.3%	52,373	▲1,039	▲1.9%	50,177	▲2,196	▲4.2%
国内消費+輸出(②)	36,600	▲586	▲1.6%	45,879	+9,279	+25.4%	50,800	+4,921	+10.7%	47,200	▲3,600	▲7.1%
需給バランス(①-②)	680			7,533			1,573			2,977		
単収	6.1538		▲221.4%		+8.36	+220.7%		+8.06	▲29.6%		+8.07	+0.3%

輸出港に近かったり、飼料プラントに近い地域のトウモロコシ生産者は夏場の作物として、大豆やひまわりに比べベシエ工規制が高にも拘らず、20/21年度のアルゼンチンのトウモロコシの生産量は前年比▲240万トン減の4,760万トンと見込まれている。

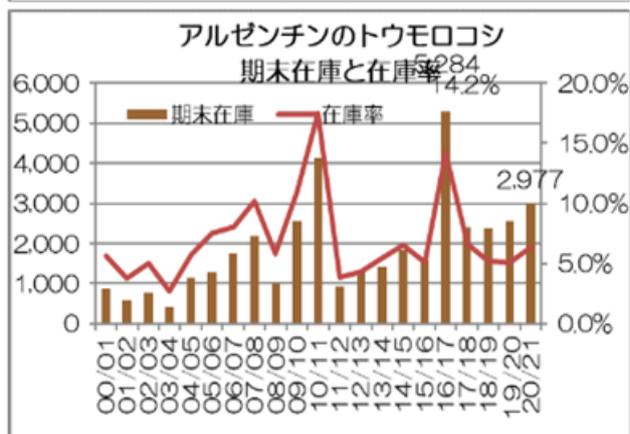
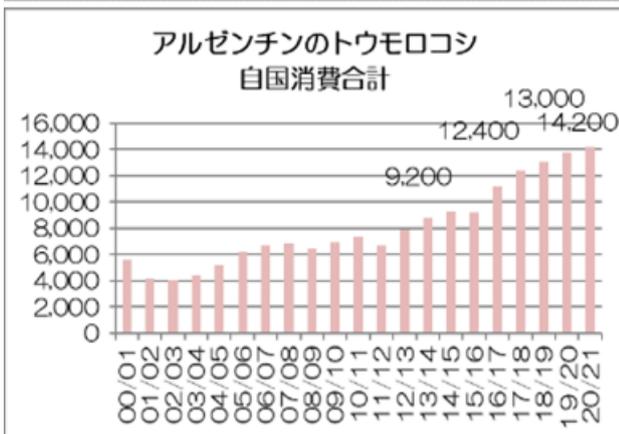
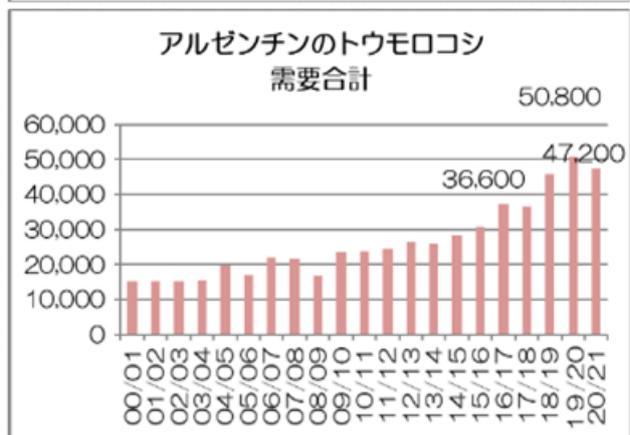
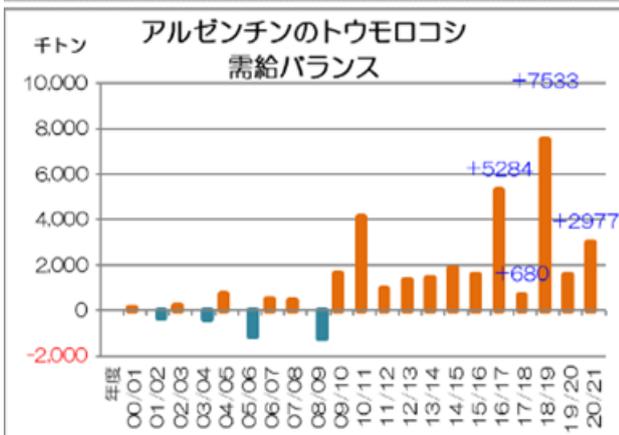
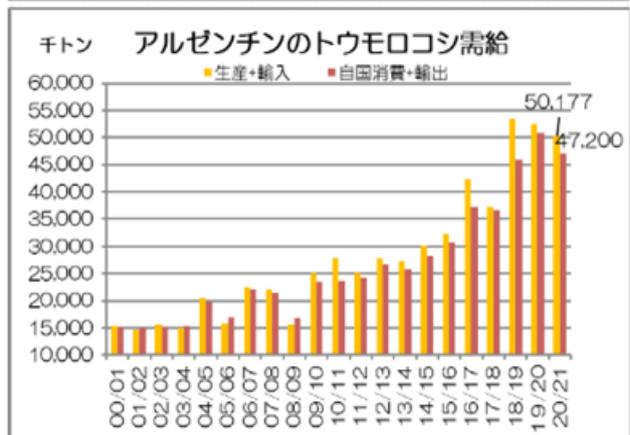
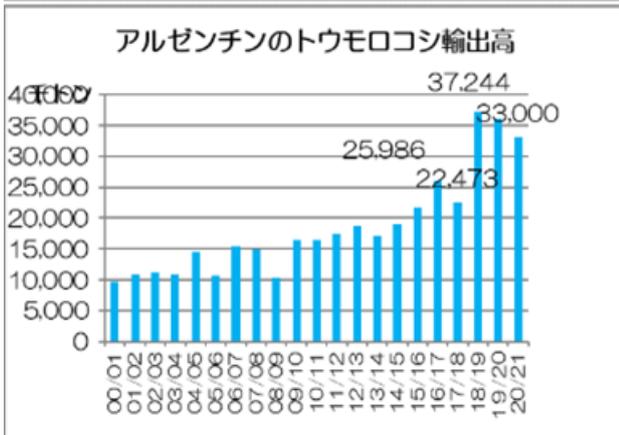
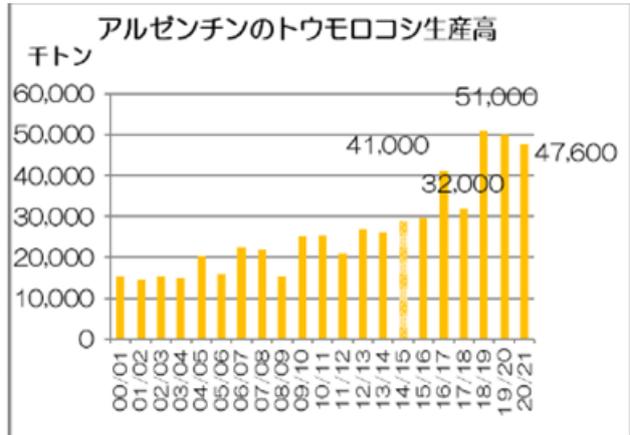
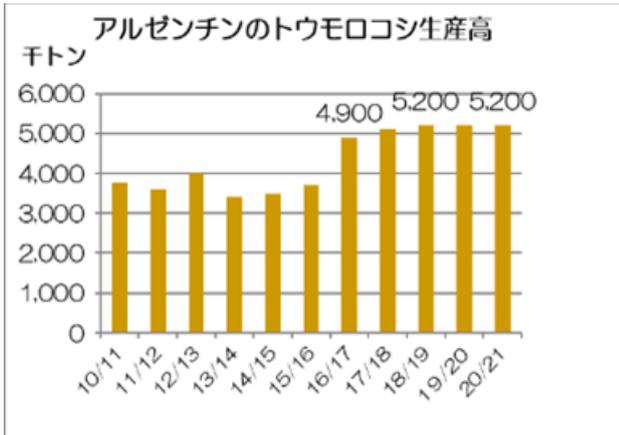
作付面積は前年比▲30万ヘクタール減の590万ヘクタール。19/20年度の収穫はほぼ9割終了している。

農業全体に経済的なストレスがかかっており、リスクを回避する姿勢が作付面積に現れている。一期作目の作付けは1~2か月後に始まり、二期作目は5~6か月後に始まるが、農民はまだ最も適正な作物は何かについてまだ決め切れていない。トウモロコシの生産コストは大豆に比べ約8割高いため、それがトウモロコシの作付けを躊躇させている。昨年12月にトウモロコシの輸出関税が12%に増税された。農民はこれが更に15%まで上がることを予想している。生産者はドルを公的市場で買うことが出来ないが、闇市場ではドルは7割も上昇している。アルゼンチン政府は新型コロナウィルス対策として特恵金利を提供しているため、小麦生産者は収穫量の約5%を保存している。また輸入する際の海外のサプライヤーに支払うドルに規制があるため、輸入価格が上昇し、また輸入元との接触が少なくなっている。

さらに、政府は最近、アルゼンチン最大級の大豆圧砕やバイオディーゼル、バイオエタノールなどを生産し6番目に大きな農業輸出企業が倒産し、政府が接収すると発表した。多くのビジネスセクターで叫び声が聞こえ、政府はこの会社の将来のための他の選択肢を検討している。

20/21年度のアルゼンチンのトウモロコシ輸出量は前年比▲300万トン減の3,300万トンと予測されている。生産量の▲240万トンの減少は、前年度の期末在庫の増加が+80万トンあり、国内消費量が前年比+40万トンと予想より少なくなっている部分相殺されている。

アルゼンチン産のトウモロコシの最大の輸出先はベトナムで、20~25%を占めている。以下、他の東南アジア市場とアフリカ向けとなる。アルゼンチンの輸出期間は、収穫が始まる3月から、ブラジルの二期作目のトウモロコシが市場に出回る7月~8月の間に行われる。年の後半は、輸出は毎月減少していく。19/20年度のアルゼンチンのトウモロコシ輸出量は前年比▲124万トン減の3,600万トンと予測されている。3月から7月にかけての輸出実績は2,050万トンであった。



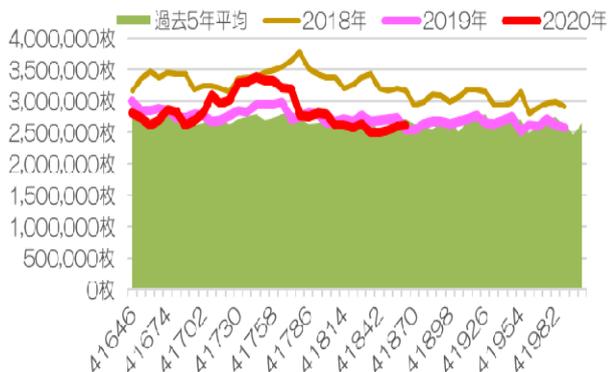
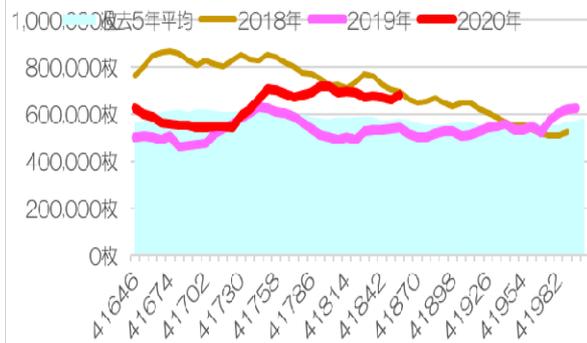
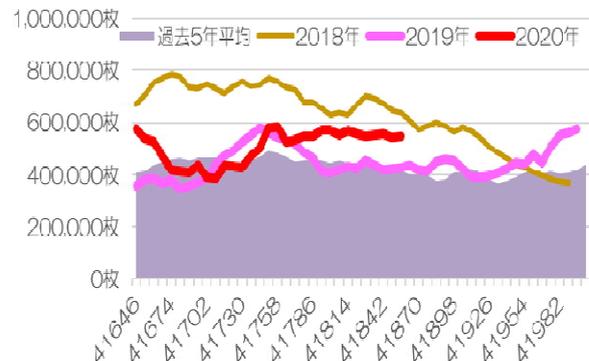


シカゴトウモロコシに対するファンドの建

トウモロコシのファンドの建玉

までの週	取組高	買い残	売り残	ネット買い残	増減	価格
20年5月5日	+1,775,306枚	+196,559枚	+361,304枚	▲164,745枚	▲30,918枚	\$317.00
20年5月12日	+1,814,501枚	+193,605枚	+381,843枚	▲188,238枚	▲23,493枚	\$322.25
20年5月19日	+1,834,951枚	+197,121枚	+411,696枚	▲214,575枚	▲26,337枚	\$321.25
20年5月26日	+1,840,617枚	+198,809枚	+440,520枚	▲241,711枚	▲27,136枚	\$319.00
20年6月2日	+1,905,933枚	+207,884枚	+449,746枚	▲241,862枚	▲151枚	\$324.25
20年6月9日	+1,938,786枚	+207,823枚	+464,925枚	▲257,102枚	▲15,240枚	\$327.50
20年6月16日	+2,012,716枚	+217,848枚	+447,688枚	▲229,840枚	+27,262枚	\$329.00
20年6月23日	+2,034,732枚	+232,914枚	+463,664枚	▲230,750枚	▲910枚	\$325.00
20年6月30日	+1,926,269枚	+255,607枚	+407,788枚	▲152,181枚	+78,569枚	\$341.50
20年7月7日	+1,872,744枚	+246,736枚	+339,954枚	▲93,218枚	+58,963枚	\$343.50
20年7月14日	+1,876,486枚	+256,234枚	+326,141枚	▲69,907枚	+23,311枚	\$326.00
20年7月21日	+1,905,548枚	+263,916枚	+331,593枚	▲67,677枚	+2,230枚	\$322.75
20年7月28日	+1,950,332枚	+285,024枚	+349,572枚	▲64,548枚	+3,129枚	\$320.00
20年8月4日	+2,030,923枚	+295,757枚	+396,307枚	▲100,550枚	▲36,002枚	\$320.25
前月比	+80,591枚	+10,733枚	+46,735枚	▲36,002枚	▲39,131枚	+¢0.25
2カ月前比	+124,990枚	+87,873枚	▲53,439枚	+141,312枚	▲35,851枚	▲¢4.00

8月4日のシカゴトウモロコシに対するファンドの建玉は、前週から買いも売りも増えたが、売りの方が多く、ネット買い残は前週から▲3万6002枚減少して、▲10万550枚の売り長が増えている。

シカゴトウモロコシに対するファンドの
取組高シカゴトウモロコシに対するファンドの
買い残シカゴトウモロコシに対するファンドの
売り残シカゴトウモロコシに対するファンドの
ネット買い残



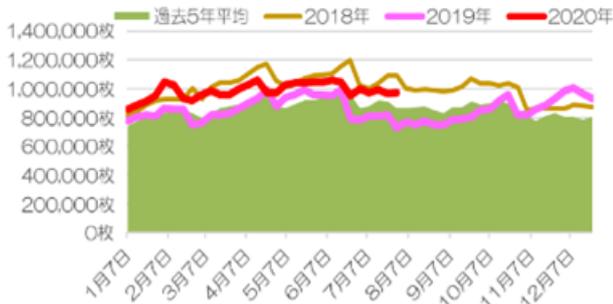
シカゴ大豆に対するファンドの建玉

シカゴ大豆ファンドの建玉

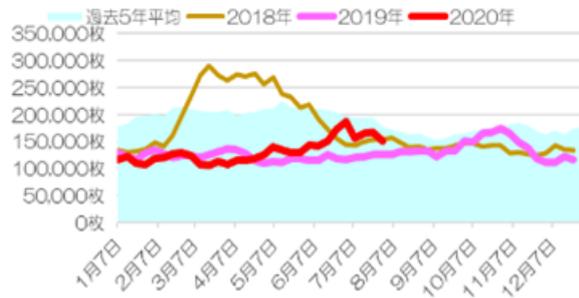
までの週	取組高	買い残	売り残	ネット買い残	増減	価格
20年5月5日	973,256枚	125,650枚	87,320枚	+38,330枚	+6,833枚	¢839.5
20年5月12日	1,025,674枚	140,617枚	81,149枚	+59,468枚	+21,138枚	¢852.0
20年5月19日	1,038,765枚	134,969枚	95,130枚	+39,839枚	▲19,629枚	¢842.5
20年5月26日	1,042,699枚	130,054枚	100,196枚	+29,858枚	▲9,981枚	¢847.0
20年6月2日	1,047,660枚	128,777枚	103,641枚	+25,136枚	▲4,722枚	¢850.5
20年6月9日	1,044,618枚	143,322枚	97,963枚	+45,359枚	+20,223枚	¢863.3
20年6月16日	1,063,884枚	142,272枚	92,364枚	+49,908枚	+4,549枚	¢867.0
20年6月23日	1,045,355枚	150,390枚	82,069枚	+68,321枚	+18,413枚	¢875.0
20年6月30日	949,644枚	173,427枚	78,396枚	+95,031枚	+26,710枚	¢878.8
20年7月7日	1,001,034枚	186,644枚	61,434枚	+125,210枚	+30,179枚	¢896.8
20年7月14日	975,293枚	156,861枚	68,273枚	+88,588枚	▲36,622枚	¢878.0
20年7月21日	994,119枚	166,118枚	73,165枚	+92,953枚	+4,365枚	¢896.5
20年7月28日	967,977枚	167,251枚	83,244枚	+84,007枚	▲4,581枚	¢896.8
20年8月4日	975,735枚	151,214枚	90,424枚	+60,790枚	▲23,217枚	¢881.8
前月比	+7,758枚	▲16,037枚	+7,180枚	▲23,217枚	▲18,636枚	▲¢15.00
2カ月前比	▲71,925枚	+22,437枚	▲13,217枚	+35,654枚	▲18,495枚	+¢31.25

8月4日のシカゴ大豆に対するファンドの建玉は、前週から買いが減り、売りが増えて、ネット買い残は前週から▲2万3,217枚減少して、6万790枚のネット買い残となった。

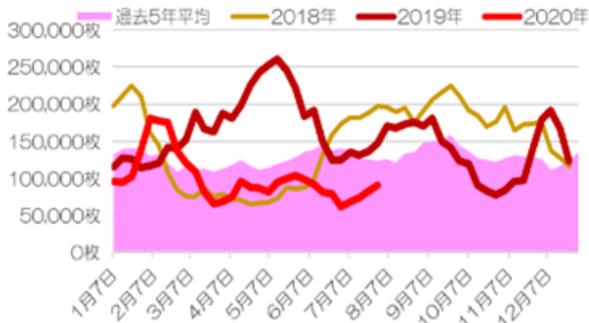
シカゴ大豆に対するファンドの取組高



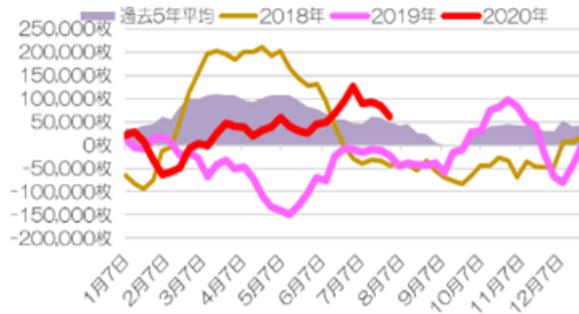
シカゴ大豆に対するファンドの買い残



シカゴ大豆に対するファンドの売り残



シカゴ大豆に対するファンドのネット買い残





今後の予想

今年の米国産トウモロコシと大豆は、順調に育っており、また降雨も適度にあってそれ程乾燥した天候にはなっていない。そのため作柄はトウモロコシの優と良が71%大豆が74%と全く問題ない。穀物は新型コロナウィルスの影響はエタノール以外はそれ程受けていないと思われ、飼料需要が減少するとか輸出に影響があるという話は出ていない。資料や食料というものはパンデミックの影響を受けず根強い需要があるものと思われる。今夜には8月の需給報告が公表されるが、特に大きく変わるとは予想されておらず、弱気の市況になるのではなかろうか。

ご案内

You -Tubeで金や原油の動画解説中

毎週月曜日午後8時 Gold TV netにて金やプラチナ・原油の解説をYou Tubeの動画で近藤 雅世と小針秀夫が行っております。サイトは『Gold TV net』検索ください。 <https://gold-tv.net/>

日本経済新聞電子版で商品投資の解説を6月1日より毎月1回半年間解説中

6月1日より毎月月初に2章ずつ合計8章の文章を掲載中です。サイトは日経電子版の『マーケット』の中の『商品』欄の右側にある『PR』欄の『一覧はこちら』から一番下にある『大阪取引所』の『商品取引入門』にあります。

https://ps.nikkei.co.jp/ose2020/index.html?n_cid=PS_DB0021



大阪商品取引所の北浜投資塾で『金の基礎知識』の動画解説放映中

JPX日本取引所グループの『大阪取引所』の『北浜投資塾』の『先物・オプション』の『その他・すべての戦略動画はこちら』の中で『金の基礎知識』の動画を放映中です。 https://www.jpx.co.jp/ose-toshijuku/futures_option/list.html



掲載される情報は株式会社コモディティ インテリジェンス（以下「COMMI」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMIが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMIは保証を行なっておりません、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMIに帰属し、事前にCOMMIへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMIが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大ま

発行元：



株式会社コモディティ インテリジェンス 4東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
 会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
 メールアドレス: kondo@commi.cc